

教育むさしむらやま



編集・発行 / 武蔵村山市教育委員会 〒208-8501 武蔵村山市本町1-1-1 TEL 042-565-1111 ◆問合せ先◆教育総務課 市役所内線424



▶▶▶施設の詳細は2ページに掲載

●●● 図書館からのお知らせ ●●●

4月から、雷塚図書館の夜間開館日を水・木・金曜日の週3日間に拡大し、午後7時まで開館します（休館日と祝日を除く）。
詳細は図書館ホームページをご覧ください。

●雷塚図書館に多摩産材を活用した本棚を設置しました。

4月23日は「子ども読書の日」です

令和7年度武蔵村山市教育委員会の基本方針に基づく主要事業・主要施策

教育委員会では、「武蔵村山市教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱・第三次教育振興基本計画」を踏まえて策定した基本方針に基づき、「令和7年度の主要施策・主要事業」を定めました。
詳細は市ホームページからご確認いただけます。

HP 1000821



『誰もが活躍できるまちづくり学習』

令和七年度がスタートしました。本年度も、生まれ育った大好きな武蔵村山市の発展・充実、そして子供たちのために、本気になり、全力で頑張って参りますのでよろしくお願いたします。

さて、武蔵村山市では、第五次長期総合計画に即したまちづくりを進めています。そして、この計画には、「人と人との絆をつむぐ誰もが活躍できるまちむさしむらやま」というとても素晴らしい将来都市像が示されています。

教育委員会といたしましても、本年度もさらに充実させていくまちづくり学習の中で、子供たちの誰もが活躍できるようにしていきたいと考えています。

このまちづくり学習は、武蔵村山市のために、自分たちのできることは何かを考え、地域の方々や企業の方々のお力を借りながら、考えたことを実現するために行動を起こすということを大きな目的として行っています。

信頼できる大人と多くの関わりをもち、愛情を注がれることにより、自己肯定感や他人を思いやる心など豊かな心が育まれます。また、地域の皆様に支えられ学んでいくことで、地域への愛着が身生え、地域の担い手としての自覚が育まれます。

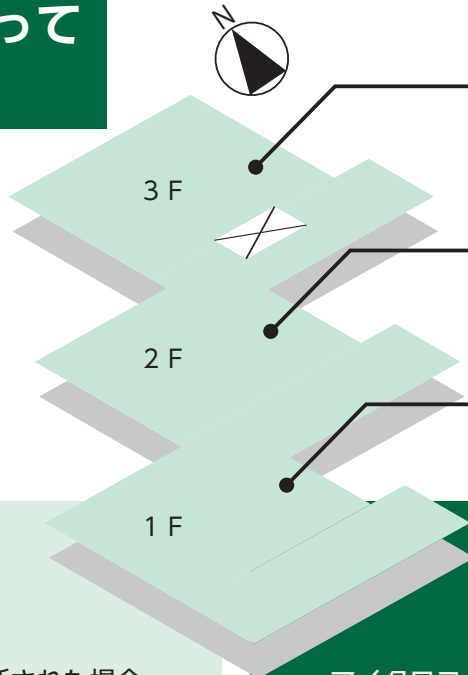
ぜひ、地域の皆様にも、このまちづくり学習の意義等をご理解いただき、充実した学習にしていきたいと考えています。

武蔵村山市教育長 池谷 光二

防災食育センターって どんな施設？

◎平常時は、市内小学校の給食調理業務などを行い、同時に応急給食用の食材等を備蓄し、常に災害時に備えています。

また、災害時には、その応急給食の調理・配送や救援物資の受入れなど防災拠点として稼働します。



- 研修室
- 展示学習ホール など

- 煮炊き調理室
- アレルギー対応食調理室 など

- 炊飯室
- 洗浄室 など

災害時の機能維持

災害時、電気・水道・ガスが遮断された場合でも、備蓄燃料（プロパンガス）や受水槽の貯水を利用することで、応急給食調理などに必要な設備を動かすことができます。

また、災害時の避難生活者数を約1万人と想定し、発災3日目から1日2食の応急給食を3日間実施することができる食材・機材・設備を常に備蓄しています。

Point
1

環境への配慮

マイクロジェネ（都市ガスを熱源とした常用発電機）の発電及び廃熱利用によるエネルギーの有効活用と節水構造の食器洗浄機や放射熱を抑えた低放射仕様の加熱機器の設置、厨芥処理システムの導入や全館LED照明の採用等により、あらゆる面から環境負荷の低減を図っています。

Point
2

複層階の調理エリア

3階建ての建物のうち、1階は炊飯及び洗浄等のフロア、2階を各種調理のフロアとして、複層階の構造とすることにより、限られたスペースで平常時の最大給食数を1日6千食、災害時の応急給食数を3日間で6万食とすることを可能としています。

Point
4

衛生的な調理環境

調理場内の作業区域の明確な区分化や、ドライシステム（床が乾いた状態を維持し、細菌を繁殖させない構造の施設・設備等）を導入し、HACCP（食品の品質・衛生管理方式）の概念に基づく高水準の衛生管理を行います。

Point
3



プラットフォーム（給食などの搬出入口）



1階 炊飯室



2階 煮炊き調理室

※この施設は、防衛省防衛施設周辺民生安定施設整備事業（まちづくり支援事業）補助金及び特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用して整備しました。

第十小学校に知的障害及び
自閉症・情緒障害特別支援
学級を開設しました

本市教育委員会では、特別な支援を必要とする児童に対する教育を一層充実させるため、「第五次武蔵村山市特別支援教育推進計画」に基づき、令和7年4月より、武蔵村山市立第十小学校に知的障害及び自閉症・情緒障害特別支援学級を開設しました。

開設の目的

子どもたち一人一人の特性に応じた適切な教育を、少人数指導を通じて、学びの充実と社会性を身に付けることを目的としています。

学級の名称

知的障害学級

「めじろ」

自閉症・情緒障害学級

「つばめ」

就学や転学の相談

就学や転学を検討されている方は在籍校又は教育相談室にご相談ください。

〈問合せ〉教育相談室

☎042-590-1470

令和7年度「土曜日チャレンジ学校」の参加者を募集します

「土曜日チャレンジ学校」では、子供たちが土曜日を有効に活用し、様々な体験活動や観察を通して市内の自然、生活、文化について学び、楽しく勉強することができます。みなさんの参加をお待ちしています。

【対象】市内在住・在学の小・中学生
【申込方法】

◆市内の学校に在籍している小・中学生

各学校から配布される参加申込書に必要事項を記入の上、4月21日(月)(必着)までに「教育を支援する市民の会」事務局に郵送してください。

◆市外の学校に在籍している小・中学生

官製はがきの裏面に、①参加者氏名(ふりがな) ②性別 ③住所 ④学校名・学年 ⑤保護者氏名 ⑥電話番号 ⑦希望コース名を記入の上、4月21日(月)(必着)までに教育委員会文化振興課へ郵送してください。

詳細につきましては、令和7年4月1日発行の「市報むさしむらやま」及び各学校から配布される土曜日チャレンジ学校募集案内をご覧ください。

申込みが多数の場合は抽選とし、結果は、はがきでお知らせします。

※ 申込みは一人2コースまでとし、2コース目の希望は官製はがきにてお申込みください。

〈問合せ〉文化振興課生涯学習係
☎042-565-1111
(内線658)

薬物に関する特別授業を実施しました

東京都薬物乱用防止推進武蔵村山市地区協議会では、薬物乱用防止の普及啓発活動を実施しています。



今回、第十小学校の6年生を対象に、東京税関職員の方をお招きして、税関の仕事内容や不正薬物に関する特別授業を実施しました。

動画やクイズを通して、薬物の危険性について学びました。昨今、話題にもなっている大麻グミなど身近な食品にも危険が潜んでいる可能性

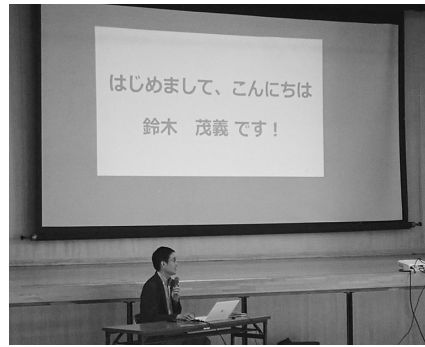


がありますので、注意が必要です。特別授業の後半では、麻薬探知犬のウンディーネ号(貨物検査対応犬)とハンドラーによる実演をしていただき、どのように薬物を見つけているのか、児童たちも興味津々で見守っていました。また、児童から麻薬探知犬に関する質問も多く出ました。



人権に関する講演会
「多様性について」

大南学園第七小学校



1月30日(木)、本校4、5年生を対象に「人権教室」を開催しました。講師に鈴木 茂義さんをお招きし、「多様性」をテーマにお話をさせていただきました。

皆さんは、「LGBTQ+」という言葉をご存じですか?多様な性の在り方を表す代表的な言葉の頭文字をつなげたものです。少し前までは、「LGBT」と言われていました。そこに「Q」(Queer・Questioning)とそれに当てはまらない多様な性を表す「+」が付け加えられました。私たちが様々な社会集団で生活をする時、自分と全く同じタイプの人を発見することは大変困難です。にもかかわらず、考え方や指向などが

違う人のことを、ついつい嫌がったり、避けたりしてしまうことがあります。

講師の鈴木先生からは、「自分と違うところを探すのではなく、同じところも探してみてください。」

また、東京都では人権尊重の理念として「自分の大切さとともに他の人の大切さも認めること」を掲げています。

小学生にとっては、「多様性」という考え方は少し難しいかもしれませんが、しかし、今回の講演を真剣な眼差しで聞き入っていた児童たちにとって、隣に座る友達のことを今までよりほんの少し大切にしたり、今までよりほんの少し深く考えたりするきっかけになったのではないかと考えています。



障害者差別解消講演会
第三中学校

1月30日(木)に障害者差別解消推進講演会の講師として、パリ2024パラリンピック車いすラグビー日本代表で金メダリストの小川仁士選手が来校されました。

小川選手からは、障害を負った経緯や車いすラグビーとの出会いなど、これまでの挫折や喜び、障害を通じて思うことなどをお話いただきました。障害者差別解消について「本当のバリアフリーとは、困っている人に声掛けする行動を取ることだ。」と話されました。

また、自ら大切にされているサッカーの本田圭佑選手の言葉「成功にとらわれるな。成長にとらわれる。」を引用され、「諦めずに努力していくことで最終的に成功するからどんなことがあっても頑張ってください。」「みんなには何でも一生懸命に全力で楽しんでやってほしい。それが将来につながる。」とお言葉をいただきました。

講演の後の行われた車いすラグビー体験では、競技用の車いすに乗って小川選手に真正面からタックルされると、「バーン!」という大きな音が響き渡り、その迫力に生徒たちはすっかり驚いていました。その後は小川選手を交えた3対3のチームで実際に試合を体験しました。生徒たちはコツを掴むとすぐに



ボールを追いかけ、得点を重ねました。どのクラスも接戦の楽しいゲームになりました。体験した人も、周りで見ていた人も、みんなが車いすラグビーの魅力を引き込まれて、とても楽しい時間を過ごしました。最後に、特別にパリパラリンピックの金メダルを首に掛けてもらったことも、忘れられない思い出になったことでしょう。

PTA主催スポーツ体験会 〜大南学園第七小学校〜

1月25日(土)に、本校の校庭と体育館を使って、PTA主催のスポーツ体験会が開催されました。この企画は、今年度2度目の開催です。

スポーツ体験会には、地域のスポーツチーム(野球、サッカー、ハンドボール、ダブルダッチ、バスケットボール)の皆様にもご協力をいただきました。

受付を済ませた子供たちは、体育館、校庭を往復しながら、普段は触れる機会のない様々な運動に親しみながら、楽しく体を動かすことができました。

第七小学校では、今年度より「体育・健康教育」の研究に取り組んでおります。校内だけでなく、保護者、地域の皆様と一体になり、子供たちの心身の育成に努めてまいります。



ハンドボール体験の様子

笑顔と学びのプロジェクト SDGs講演会 〜第三中学校〜

本校では、まちづくり学習の一環として、ゼロカーボン学習やSDGs学習を行っています。

第二学年では、東京体験を通じてゼロカーボンをどのように地域で生かせばよいのかについて考えてきました。また、各クラスでSDGs週間を設定し、課題に取り組んできました。

今回は、お笑い芸人の三拍子、たんぽぽ川村さんをお招きし、楽しみながらSDGsについて理解を深めました。授業では、SDGsの目標を大喜利風に捉えていき、トランプのババ抜きを応用したゲームを実施しました。「日本では、毎日一人おにぎり一個分捨てていることになる」や環境のことなど世界のことを自分事として楽しみながら授業を受けることができました。



特色ある学校づくり推進校 研究発表会 〜第八小学校〜

本校では、令和5・6年度武蔵村山市特色ある学校づくり推進校として、これまで校内研究に取り組んできました。研究主題を「分かった!できた!使えた!」を実感できる児童の育成」に設定し、算数科における見方・考え方を大切にしたい授業づくりの研究をしてまいりました。

2月7日(金)に、全学級で算数科の授業公開をし、これまでの研究成果を発表しました。一つの教室にはたくさんの児童がおり、一斉指導を行う上では、学習の理解度に差が生まれてしまうことがあります。この時、教室にいる児童の誰一人も取り残さない授業づくりに努めてきました。研究主題の「分かった!できた!使えた!」を、教室にいる誰もが実感できるように、学校全体で目指してきました。

その実現のためには、教室にいる児童が、学習内容をどの程度理解しているのか、その理解度を捉えておくことが欠かせません。指導者は子供たちのノートや問いかけた時の反応などから一人一人の学習状況を把握していきます。理解度が十分でない児童には、きめ細かな支援をします。一方、理解度が高い児童には自

己理解に終始するのではなく、理解したことを誰にでも分かるよう説明する方法を考えさせるなど、学習を深めさせていきます。

研究発表当日は、講師の文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官の笠井健一様によるご講演をいただきました。教室にいるだれもが分かるためにはどのような指導が必要なのか、実際に会場の教員に向けて算数の問題を示し、授業をしてくださいました。課題をいち早く解決した参加者には、どのように説明をすれば誰にも解決方法が伝わるかを考えさせるなど、会場の教員相手に本校で目指していた授業スタイルを再現していただきました。

この2年間の研究を通して学んだ、算数科における見方や考え方を大切にし、誰もがよく分かり、楽しさを感じられる授業づくりを、これからも追究していきます。



区分	小学3・4年生	
	男子の部	女子の部
優勝	九小 ガンバルズ!!	村学 最強ガールズ
準優勝	二小 パワーズキッズ	一小 パワフルガールズ
第三位	一小 ジュニアーズ	

区分	小学5・6年生	
	男子の部	女子の部
優勝	九小 サンダース	二小 ハレルレーヤハルカ
準優勝	二小 アヒル軍団ズ	村学 ガールズ
第三位	村学 ブラザーズ	八小 MMガールズ
	八小 MM	

令和6年度少年少女スポーツ大会
第22回少年少女
ドッジボール大会開催結果

2月1日(土)、総合体育館第一体育室で第22回少年少女ドッジボール大会が開催されました。

市内の各小学校から集まった3年生から6年生までの男女全32チームが熱戦を繰り広げ、観戦している保護者の方々による応援の拍手にも力が入りました。

各部門の入賞チームは表のとおりです。

👑 各部門優勝チーム 👑



九小 ガンバルズ!!



村学 最強ガールズ



九小 サンダース



二小 ハレルレーヤハルカ

そうだったんだ!

コミュニティ・スクール (学校運営協議会)

武蔵村山市は全校にコミュニティ・スクール(CS)を設置しています!...ですが、実際にCSでは何が行われているのか、意外と知られていないのでは? という思いから、今回はCSの仕組みについて紹介します。

▶**そもそもCSってなに**
一コミュニティ・スクール(学校運営協議会)は、学校運営に関する基本的な方針(教育課程の編成など)の承認を行うとともに、学校運営への必要な支援について協議を行います。また、学校運営について、教育委員会や校長に対して意見を述べることもできます。

地域の伝統・伝承について学んでほしい...

防災訓練のボランティアをお願いしたい...

校外学習のサポートがしたい...

学校の教育活動を支援したい...



▶**教育課程の承認とは**
一学校づくりの目標やビジョンを学校と地域が共有することを指します。子供たちの多様な学び・体験は、学校内外において地域の協力が不可欠です。目指す学校像の実現に向けて教職員任用に関して意見を述べることもできます。

▶**CS委員とPTAは何が違うの**
一保護者の立場からではなく、地域住民として学校運営に参加し、意見を述べることができます。

▶**CS委員にはどうやってなるの**
一教育に関心のある方の公募や学校長の推薦を経て、教育委員会で任命された方が非常勤職員としてCS委員となります。

▶▶ **地域学校協働活動の実施へ**
地域未来塾 放課後子供教室 土曜日チャレンジ学校など

熟議とは ▶ 熟慮(よく考え)、協議(話し合うこと)。大事なことはしっかり協議し、ビジョンを共有!
目指す姿 ▶ 学校と地域がパートナーとなり、子供たちの学びを支え、子供たちを育む!

Next▶▶▶ CS運営のポイント、活動事例を取り上げます

令和6年度防衛省の
特定防衛施設周辺整備調整交付金充当事業

防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金充当事業として、学校施設等の整備工事を行いました。

第十小学校屋上防水改修工事ほか

第十小学校（残堀五丁目100番地の1）の校舎地上3階建て、延べ床面積4,853・85㎡について、老朽化した窓枠等の建具及び屋上防水の改修を令和5年度及び令和6年度の2年間をかけて行いました。

第八小学校屋内運動場屋根・外装改修工事ほか

第八小学校（三ツ藤二丁目78番地の1）の屋内運動場（平屋建て一部2階、延べ床面積724・61㎡）について、老朽化した窓枠等の建具、外壁、屋根等の改修を行いました。

今回の改修によって、窓やドア等が新しくなり、開閉がスムーズになりました。また、屋上防水改修工事を行ったことにより、雨漏りの心配がなくなり、教育環境が改善されました。

今回の改修によって、窓やドア等が新しくなり開閉がスムーズになりました。また、外壁や屋根等の改修工事を行ったことにより、屋内運動場が見違えるほど奇麗になり、教育環境が改善されました。

令和6年度厚生労働省の
国立感染症研究所施設周辺安全対策事業

厚生労働省の国立感染症研究所施設周辺安全対策事業として、学校施設等の整備工事を行いました。

第三小学校屋内運動場トイレ改修工事

第三小学校（中藤一丁目36番地の1）の屋内運動場（平屋建て、延べ床面積635・34㎡）のトイレの改修工事を行いました。

この改修によって、屋内運動場のトイレが洋式になりました。また、新たにバリアフリートイレを設置し、避難所及び教育環境が改善されました。

雷塚小学校校舎トイレ改修工事

雷塚小学校（学園四丁目6番地の1）校舎（地上4階建て、延べ床面積7,274・19㎡）北校舎の東側トイレの改修工事を行いました。

この改修によって、トイレが洋式になりました。また、各階に新たにバリアフリートイレを設置し、教育環境が改善されました。



ALT Column

Last November, the Murayama Deidara Festival was held near the mall, and it was a wonderful opportunity for the ALTs to gather and get involved with enlivening our city. While our community interactions are typically on a smaller and more personal basis, the festival is a chance for everyone to come together, appreciate our connections, and engage in Musashimurayama's traditions. One of the most apparent attractions to us was the festival's namesake: parade floats of the legendary giant "Deidara-botchi". It's said that while he was carrying Mt. Jodo, one of his footprints created a local well that is still used to this day. While festivals overseas have parade floats

as well, they're usually not accompanied by whimsical legends like this, so hearing stories of how the city was formed in ancient times was new and interesting to us. We had delicious food from the numerous food stalls, from American comfort food like fried chicken and corn dogs to Japanese classics like yakisoba and takoyaki. It evoked a feeling of nostalgia for the fried festival food we had before moving to Japan. To accompany our meals, there was a great variety of events across the venues. There were musical performances, dancing, an udon eating contest, and some of our students even took part in a fashion show! Supporting and even participating in these fun activities truly makes this city feel alive and makes us feel welcome in its community.

We ended the second day with the "shateki" shooting game. The game's participants were mostly kids, so it was quite silly to have ALTs in the mix. In the end, we didn't win anything; festival shooting games overseas typically use a continuous stream of water for ammunition instead of corks, so in this case, it was harder to see where the gun was aiming. Regardless, the new experience was in itself a valuable prize. We came for fun games and delicious food, and we left with a deeper understanding and appreciation of this city's history and people!

昨年11月に商業施設の付近で村山デエダラまつりが開催され、ALTたちにとって一緒に市の活性化に触れる良い機会となりました。地域の集まりとなると、たいていはもう少し小さな規模で限定されていますが、このお祭りはすべての人が一堂に会し、そのつなぐりに感謝し、武蔵村山の伝統に触れる機会です。中でも際立ったのはお祭りの名前にもありますが伝説の巨人デエダラボッチ山車のパレードでした。外国にも山車を出すお祭りはありますが、このような楽しい伝説を伴っておらず、この市が古くからどのように形作られてきたかを聞くのは私たちに新鮮で興味深いものでした。

たくさんある屋台では、アメリカではなじみのあるホットドックやフライドチキンから日本では定番の焼きそば、たこ焼きを堪能しました。日本に移住する前に食べたお祭りの揚げ物料理のなつかしさを呼び起こしました。料理に加えて、会場のあちらこちらで素晴らしい様々なイベントが行われていました。音楽、ダンス、うどん食い競争などがあり、さらにはファッションショーに参加している私たちの生徒もいました！このような楽しい活動を支援し、参加することはこの市を生き生きとさせ、そして私たちもこの地域に歓迎されている気持ちになります。

二日目の最後には射的をしました。参加者はほぼ子供たちで、その中にALTがいるのは少し滑稽でした。結局のところ景品は勝ち取れませんでした。実は海外では多くの場合、コルクではなく水流を使い射撃をするので、今回は狙いを定めるのが難しかったです。どちらにせよ、この新しい経験自体が私たちへのご褒美です。楽しく遊び、おいしく食べた後は、この市の歴史と人々へのより深い理解と感謝とともに会場を去りました。



教育長・教育委員の動き (1月～3月)

- 1月 6日 (月) 仕事始め式
- 1月13日 (月・祝) 20歳を祝う会
- 1月16日 (木) 東京都市町村教育委員会連合会第3回常任理事会・第3回理事会及び第2回理事研修会
- 1月17日 (金) 第1回教育委員会定例会
- 1月19日 (日) 第13回武蔵村山市小中学生百人一首大会 開会式
- 1月28日 (火) 七市教育長会 (書面開催)
- 2月 1日 (土) 令和6年度少年少女スポーツ大会第22回少年少女ドッジボール大会 開会式
- 2月 3日 (月) 研究・研修成果報告会
- 2月 7日 (金) 特色ある学校づくり推進校発表会
- 2月14日 (金) 第2回教育委員会定例会

- 2月28日 (金) 東京都市町村教育委員会連合会第2回研修会
- 3月 7日 (金) 武蔵村山市防災食育センター内覧会
- 3月19日 (水) 市立中学校卒業証書授与式
- 3月21日 (金) 第3回教育委員会定例会
- 3月24日 (月) 市立小学校卒業証書授与式
- 3月25日 (火) 令和6年度第2回総合教育会議
- 3月31日 (月) 定年退職教職員の辞令伝達式

教育委員会提出議案 (12月～2月)

提出議案10件 (うち可決された議案10件)

主な可決議案

- ・令和7年度教育予算の申出について
- ・令和7年度 武蔵村山市教育委員会の基本方針に基づく主要施策・主要事業について

詳しくは、市ホームページ **HP 1020804** をご覧ください。

令和7年4月～6月 主な教育委員会関係事業予定

事業名	開催日	場所	対象者等	問合せ先
第48回歩け歩け大会	5/18 (日)	狭山丘陵 (野山北公園運動場 スタート・ゴール)	市民	スポーツ振興課
令和7年度少年少女スポーツ大会 第55回少年野球大会	6/14 (土)～6/29 (日) の土日	総合運動公園運動場 (第1・第3運動場)	市内在住・在学児童	スポーツ振興課

「教育むさしむらやま」へのご意見・ご感想をお寄せください。

